

関東では梅雨も明け、まぶしい日差しが連日照りつける夏本番となつてまいりました。今年度より、日本内視鏡外科学会雑誌の編集委員を拝命いたしました、東邦大学医療センター大橋病院外科の片田でございます。

私が委員に着任して、すでに数回の編集委員会が開催されました。委員会には毎回、渡邊昌彦理事長が自ら、編集主幹として出席されていることから、本学会誌の重みを感じております。投稿論文の査読をさせて頂くと、どの論文からも著者らの創意工夫により内視鏡手術の手法をなんとか発展させ、患者さんに恩恵をもたらすことはできないかとの熱意を感じます。必ずしも規模の大きい市中病院において、若手医師を指導しながら、自身が考案された手術手法の改善を目指されている指導医の先生の姿を思い描くとき、まさに頭の下がる思いがいたします。その真摯な想いに応えるべく、編集委員会で白熱の議論を交わし、論文の改善点などの提案をさせて頂いております。

日本の多くの学会誌において、英文ジャーナルへの移行がなされていく中、投稿される方にとって和文誌である本誌の活用方法を考えてみました。本誌の原稿の様式として、原著、総説、症例報告、手術手法、私の工夫、短報と6つのカテゴリーがあります。内視鏡外科に憧れを持つ若手の先生方にとって、症例報告は論文作成の登竜門と言えるでしょう。私自身も、卒後3年目のときに指導医の先生から何度も添削を受けながら、苦労して投稿した論文が受理され、活字になったときの喜びを忘れることはありません。一語一句暗記するほど書き込んだ活字を何度も見返しては、満足感にひたつたことを思い起こします。症例報告を、論理的に日本語で丁寧に書き上げるという作業は、一流の英文誌に原著論文を投稿する前段階のステップとしても極めて貴重な経験となります。一方、指導的立場にある先生方にとっては、手術手法や私の工夫としての論文が、自身が開発された卓越した手法を会員諸兄に知って頂く格好の機会となります。また、自身の研究成果を日本語にて細かいニュアンスまで伝えたいとの場合には、原著にするのもよいでしょう。その他、総説、短報を含めてこの6つのカテゴリーを十分に活用され、それぞれの立場の先生方がご自身の主張の趣旨に合わせて投稿頂くことにより、本誌の存在意義はさらに高まってゆくものと考えます。私自身も編集委員として、本学会と本誌の発展に少しでも寄与できるように努力を重ねてまいります。

(片田夏也)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第21巻 第5号) 2016年9月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1部) 定価：本体 2,800 円 + 税 * 会員には毎号送付されます。

2016 年 年間購読料：冊子版 16,380 円 + 税、電子版/個人 16,380 円 + 税、電子版/共有 18,840 円 + 税、冊子 + 電子版/個人 19,380 円 + 税、冊子 + 電子版/共有 21,840 円 + 税 (配送料：医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：渡邊昌彦)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1257 E-mail: info-jses @ convention.co.jp (担当：池田，小倉)

http://www.jses.or.jp

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2016, Printed in Japan

発 売：(株)医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：水野，安部) http://www.igaku-shoin.co.jp/

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses @ igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・JCOPY (株)出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

ロボット支援下根治的前立腺全摘除術 (Robot-assisted radical prostatectomy : RARP) における癌制御, 尿禁制, 勃起能の解析 藤村哲也・他 東京大学大学院医学系研究科泌尿器外科学

●症例報告

感染メッシュ除去後の再発鼠径ヘルニアに対して腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術を

施行した 1 例 本間周作・他 姫路医療センター外科
馬蹄鉄腎に合併した腎盂尿管移行部狭窄症に対する腹腔鏡下腎盂形成術 志村寛史・他 山梨大学泌尿器科学教室
放射線性腸炎に合併した梅種子による食餌性イレウスに対し

腹腔鏡補助下小腸切除を行った 1 例 北里雄平・他 久留米大学外科学講座
腹腔鏡下に摘出しえた下十二指腸角 GIST の 1 例 文 正浩・他 呉医療センター・中国がんセンター外科
虫垂炎症状を繰り返した虫垂 goblet cell carcinoid の 1 例 三輪高嗣・他 中津川市民病院外科

但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。